

# 議員出前講座 学生感想



## 【大分県立看護科学大学】

◆平成29年10月20日（金）

◆4年次生 90人

◆派遣職員：木田議員、吉岡議員

- 思っていたより、議員が地域や県民に近い存在で、活動されているのだと感じました。もう少し、若い人が政治に積極的に関わることが必要だと改めて感じました。
- 県予算の主な歳出は教育費になっており、それにより私たち県立の学生も充実した環境で勉強できているのだと感じ、学ぶことの大切さを改めて感じました。
- 自分が持っている一票に責任、自覚をもって参加していく必要があると思いました。
- 選挙では、議会の活動の方向性を自分たちで決めることだと考えると、選挙に参加するという事は、自分の生活にも関わってくる大事なことなんだと感じました。
- 今日の講義で、もう少し政治や行政に関心を示さなければならぬと思いました。



- 県議会議員は、県民の声を聞き、県民がより住みやすい県をつくるために活動していることを学びました。
- 私は、生まれてからずっと大分におり、就職も大分に決まっているので、自分を育ててくれた大分県の医療に貢献できるように精進していきたいと思います。
- 選挙で投票するときには、政治について知識が必要だと思うので、意識してテレビやインターネットなどで情報収集していきたいと思います。
- 交通ネットワークや性暴力被害者への支援、若者支援など私たちに身近なことについての詳しい説明だったので、わかりやすく、理解も深まりました。
- 年齢に関係なく声を届けられる請願により、小学生の声が届き条例が制定された事例を知り驚きました。また県議会の役割や議会を傍聴できるということを学ぶことができました。

